

記入例

令和2年度 業績優秀者返還免除申請期間延長届

(様式3)

令和 3 年 〇 月 〇 日

独立行政法人

日本学生支援機構理事長殿

本届記載事項に相違ありません。

新型コロナウイルス感染症の影響により業績優秀者返還免除申請期間を1年を限度に延長することを申請します。

修士学生はここを■に

フリガナ

氏 名 〇 〇 〇 〇

博士学生はここを■に

大 学 院 名	東京藝術大学 大学院		
課 程	☐ 修士（博士前期）課程	☐ 専門職学位課程	☐ 博士（博士後期）課程
研究科名・専攻名	〇〇研究科〇〇専攻	学 籍 番 号	〇〇〇〇〇〇〇〇
奨 学 生 番 号	6 〇 〇 〇 〇 6 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	生 年 月 日	昭和 〇 年 〇 月 〇 日 平成
現 住 所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 電話番号 〇〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇-〇		

延長理由

例：イタリア絵画を対象に研究していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で欧州に渡航して調査をすることができず、研究計画に遅延が生じ、今年度中に修士論文を執筆することが不可能となったため、研究業績を上げることができなくなった。
本事情について指導教員にも相談した結果、在学延長をすることとなった。

※「課程」欄は、該当するいずれかの口を■にすること。

※「現住所」は大学へ届け出ている住所を記入すること。連絡先が変更とな

大学に届け出ること。

※本申請が認められた場合は、該当の第一種奨学金の貸与終期を
奨学金の交付はありません)した後に奨学金を辞退する処理を行
これにより、令和3年度貸与終了者として令和3年度の返還免除申

業績を上げることができなかった
理由を詳細に記入すること。
コロナの影響以外の理由は認めら
れません。

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 令和 3 年 月 日

学 校 名

ここより下は記入しないこと

関係課長 (※)

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

電話番号 (担当者名)	学 校 番 号	区 分
— ()	⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮ ⋮	⋮ ⋮ ⋮

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。